



第4号では、9月に行った2年生の道徳授業について紹介したいと思います。



★ 2年生の道徳…

【資料】『父へのメッセージ』（「彩の国の道徳 自分を見つめて」より）

【概要】

県の選抜チームのレギュラーに選ばれ、充実した毎日を送っていた由樹。合宿中に、突然、母から「お父さんが救急車で運ばれたの。すぐ病院に来て。」との電話が入る。父はそのまま入院。「なるべくお父さんのそばにいてあげてね」の言葉で、由樹はバレーの練習を休み、父の看病をすることを選択する。病院通いを続けていたある日、父に「好きなことに夢中になっている由樹が見たいな。練習に行ってきたさい。」と言われ、練習に復帰する。父の言葉や、西野先生の「お父さんは、君が君らしく生活していくことを望んでいるのではないかな。」という言葉から、自分の生命を輝かせて生きることの大切さや素晴らしさを実感し、父の亡き後も、父の言葉を受けてバレーを頑張るのであった。

【わらい】

人間の生命の有限性やかかけがえのなさを理解し、夢や希望を持って前向きに生きようとする態度を育てる。

【3-(1)生命の尊重】

《授業の感想》

- 自分は、この話のようなことを経験したことがありません。しかし、由樹さんの立場に立ってみると、悲しみや考え込んでしまうようなところがありました。人間の「命」というものは、とても重く、そして深いもの。よく「人が生まれてきたのは、その人が何かやらなくてはいけない使命があるから」だと言います。その使命の裏には、試練が付きものだと思います。だから、自分もこの話の由樹さんの言葉「自分らしく頑張っていこう」のようにしていきたいです。
- 自分が好きなことを自分らしくやって、精一杯生きていくことが大切で、そのように生きていこうと思いました。
- 私は、授業を終えて、この話の由樹ちゃんは生きて輝けることをしようという気持ちを父からのメッセージで気付いたのではないかなと思いました。山本有三さんの詩で学んだことは、人生は死ぬことじゃなくて生きることだということです。この宇宙で、一人しかいない自分。ダメな人生にするのではなく、悔いの残らぬように生きて、たった一度の人生をむだにせず生かして、生きていきたいと思います。
- 最初、どちらを選べば良いか分からなかった由樹が、最後には自分の気持ちに気付いてバレーを楽しむ姿が素晴らしいと思った。お父さんのメッセージを胸に、好きなことに夢中になっている由樹はすてきだなと思った。私も一度しかない人生を大切に、自分を生かして色々なことに一生懸命励みたいと思った。人は、好きなことに夢中になっている時が一番輝いているのではないかなと思いました。
- 自分らしく生きていくことは大切なことだと知りました。お父さんは、由樹さんにそばにい

てほしいと思ったけど、バレーをやっていた方がいいと思ったから「練習に行きなさい」と言ったのだと思いました。もう少しで死んでしまうかもしれないのに、「練習に行きなさい」と言ったのは、“自分らしく生きて幸せになれ”という強い思いがあったのだと思います。

- 自分が自分らしく生きていられる場所、そんな場所を見つけられて、由樹はとても幸せな人生を送っていけるんだろうなと思った。ほくも、自分らしく生きられる場所をみつめていきたいです。
- お父さんの思いを受け止めて、自分らしく生きていく由樹の姿を見て、私もやりたいことを悔いのないようになりたいなと思いました。
- 人生、悔いのない選択をして生きていこうと思います。これから何が起こるかは誰にもわかりません。だから、1日1日を大切にしていこうと思います。せっかく生まれてきたのだから、この人生を満喫したいです。
- 由樹さんは、お父さんのおかげで「がんばろう」という気持ちになっていて、お父さんに感謝をしていたので、自分も親に感謝の気持ちをもって生きていきたいと思いました。
- 自分は自分らしく生き、悔いの残らない人生を歩むことが大切だということが分かりました。
- 今日の授業で、生まれたからには必ず死が訪れることを改めて感じさせられました。自分は、すごい奇跡で生まれてきたのだから、周りの人に感謝を忘れず、生きていることをしっかり実感したいです。そして、最後に、素晴らしい最高の人生だったなと思えるように、自分の命をもっと輝かせていきたいです。
- 今日、授業をやったことは、今、自分が夢中になっていること、将来に向けて頑張っていてやっていることを真剣にやることだと感じました。そして、一度しかない人生を大切にしようと思いました。
- やりたいことを見つめて、自分らしく生きていくことは大切なことだと思いました。

「人生は死ぬことじゃない。生きることだ。これからのものは、何よりも生きなくてはいけない。自分自身を生かさなくてはいけない。たったひとりしかない自分を、たった一度しかない一生を、本当に生かさなかったら、人間、生まれてきたかいがないじゃないか。」山本有三・著『路傍の石』

「働け、働け」と、誰も心臓にお願いしたわけじゃないのに、ずーっと叩き続けている心臓。あなたが寝ている時も、この一叩きは休みことを知りません。「命」は、人屋根に「一叩き」と書きます。一叩きの連続が命。生きているってことなんです。「俺は生きているぞ」って意識したことがありますか？生きるって、意識できないくらいスゴイことなんです。

ゴルゴ松本・著『あっ！命の授業』より

切り取り線

※「道徳だより」や授業参観の御感想、道徳教育に関する御意見などをお聞かせください。

【提出は担任にお願いします。】

● 10月の授業予定…

☆ 1年生

資料名	ねらい
釣りざおの思い出	衝動に流されることなく、時間を守ることの大切さに気づかせ、節度ある生活を送ろうとする心情を養う。
初の全国制覇	自己が属する様々な集団の意義について理解を深め、役割と責任を自覚し、集団の向上に努めようとする態度を育てる。
これからの私	それぞれの国の文化や習慣を大切に、国際的な視野に立って、世界の人々に対して正しい理解と愛情をもつ心情を育てる。
夏の思い出	自然の雄大さ、美しさに感動する心を持ち、自然を愛護する気持ちを育てる。

☆ 2年生

資料名	ねらい
火影 照明デザイナー ー石井幹子の挑戦	希望と勇気を持ち、より高い目標に向かってねばり強くやりぬく強い意志を養う。
白い花	人間としての自覚と誇りを持ち、自分のことは自分で考え決断し、主体的に生きようとする心情を育てる。
メリー・ウイドウ・ セレクション	多くの人々の善意や支えにより日々の生活が成り立っていることに感謝し、自分もこたえていこうとする心情を育てる。
母は優し そしてー	父母、祖父母に敬愛の念を深め、家族の一員としての自覚をもって充実した家庭生活を築いていこうとする態度を養う。

☆ 3年生

資料名	ねらい
ボクは新人	困難や失敗にくじけることなく、より高い目標を目ざし、希望と勇気をもって着実にやり抜く強い意志と態度を育てる。
忘れていた手紙	自ら考え、それを誠実に実行し、その結果に責任を持ち、自分の生き方に誇りをもって生きていこうとする心情を育てる。
「ありがとう」と 言われる自分に、 言える自分に	多くの人々の善意や支えにより、日々の生活や現在の自分があることに感謝し、それにこたえようとする心情を養う。
江戸しぐさは 心のマナー	思いやりの心やまわりへの配慮を大切に、迷惑をかけることのない行動の仕方を身につけ、互いに住みやすい社会を実現しようとする態度を育てる。